

車両整備のための工作機械群パート4 グラインダー

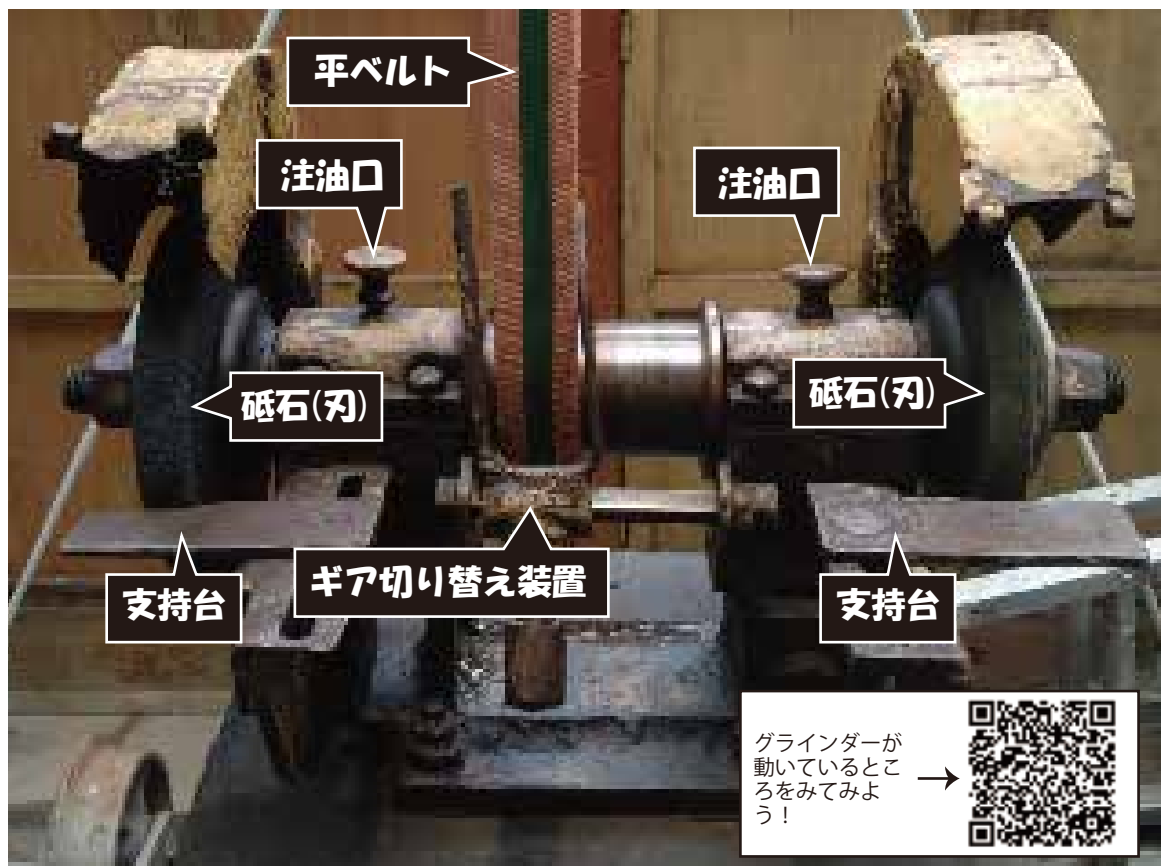
今回はグラインダーという、金属をみがく機械について掘り下げていきます。グラインダーは工作機械スペースの少し奥にあり、皆さんのスペースからは見えにくいと思うので、今回は機にどんな形をしていて、どんな役割を果たしていたのかについて知ってもらえると嬉しいです。

グラインダーとは？

グラインダーは、材料を磨くために使われる機械です。付属する円形の刃物が回り、そこに材料を当てることで、硬い金属でもピカピカに磨くことができます。

砥石の素材は何？

左側の青っぽい色の砥石は、「アルミナ」という物質で、右側の茶色っぽい砥石は、「炭化ケイ素」という物質です。どちらもセラミックスという、無機材料を高温で焼き固めたもので、金属よりも硬いため、工作機械の加工に使用されています。



どのように動くのか？

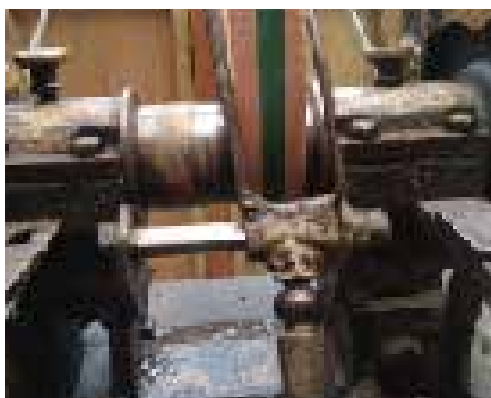
①電源を入れる

②ベルトを移動させる

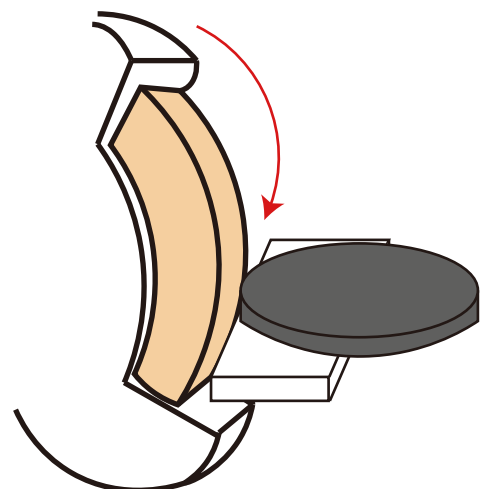
③加工する (イメージ図)



電源が入ると、平ベルトが勢いよく回り始めます。しかし、平ベルトがいくら回っても、これだけでは何も起きません。



平ベルトが回っている時に、ギア切り替え装置でベルトの位置を右側に動かすと、両方の砥石が勢いよく回り始めます。



支持台に材料をおき、回っている砥石に当てると、材料を削ることができます。

次回予告

車両整備のための工作機械群パート5 旋盤

【くりでんミュージアムへの問い合わせ】

TEL:0228-24-7961

FAX:0228-24-7962

メールアドレス:info@kuridenpark.com